



平成 29 年 9 月 28 日

各 位

会 社 名 東海カーボン株式会社
代表者名 代表取締役社長 長坂 一
(コード番号：5301 東証第 1 部)
問合せ先 経営企画室長 初鹿野 緑
(TEL. 03-3746-5228)

黒鉛電極メーカー-SGL GE 米国子会社の株式取得に関するお知らせ

当社は、平成 29 年 9 月 28 日開催の臨時取締役会において、黒鉛電極メーカーである SGL GE Holding GmbH (以下、「SGL GE」) から、その米国事業を担う SGL GE Carbon Holding LLC の全株式を取得し子会社とする契約を同年 10 月 2 日に締結すること (以下、「本件」) について、決議いたしましたので、お知らせいたします。

本件は、昭和電工株式会社 (以下、「昭和電工」) が平成 28 年 10 月 20 日付「SGL Carbon SE 黒鉛電極事業子会社の株式取得に関するお知らせ」にて開示しております SGL GE の買取について、各国関係当局からの承認を受けるにあたり、SGL GE Carbon Holding LLC の譲渡が米国競争当局からの承認の付帯条件となったことに伴い、当社が譲受先となったものです。

今後平成 29 年 10 月 2 日付で昭和電工が SGL GE の全株式を取得予定であり、取得後速やかに当社は契約を締結する予定です。株式取得完了は平成 29 年 11 月上旬を予定しております。

記

1. 株式取得の理由

当社は、平成 28 年 2 月に公表した 3 ヶ年中期経営計画「T-2018」の Phase 1 において構造改革に取り組んだ結果、事業再構築をほぼ計画通り成し遂げ、平成 29 年 2 月に新たに公表した Phase 2 に則り、成長戦略に軸足を移した取り組みを進めております。また戦略投資枠として約 500 億円を M&A 等向けに設定しており、既存事業の収益性改善、事業領域拡大を基盤としながら、さらなる企業価値向上を目指しております。

当社の主要事業の一つである黒鉛電極事業は、100 年に近い歴史を持ち、日本およびドイツに生産拠点を有し、グローバルに事業を展開してまいりました。電極の需給ギャップが鮮明になった平成 27 年には「炭素セラミックスセグメントの合理化」の一環として国内電極 2 工場の能力 4 割を削減し、ファインカーボン及びリチウムイオン電池負極材の生産能力拡大にその設備能力を振り向けました。こうした施策を通じた稼働率の向上およびコスト削減等により競争力は高まったものの、電極生産能力の観点からは、当社のプレゼンスがグローバルプレーヤーに比して低下しておりました。また、世界最大の電炉鋼生産量を誇り、黒鉛電極メーカーにとっての重要な北米市場に対しては、当社は販売子会社を通じて製品を供給しているものの、生産・販売体制の確立による本格的な市場参入が長年の課題でありました。

かかる状況下、本件による北米生産拠点の取得を通じて、世界最大の電炉鋼市場である北米における当社自身のプレゼンス向上はもとより、アジア・欧州・北米の“3 極体制”を築くことで、グローバルプレーヤーの一角として強固な事業基盤の構築を目指していきます。

また、日本における生産の一部を北米に移管することで、グローバル生産体制の最適化およびコスト競争力の強化につながると期待しており、さらに中長期的にはリチウムイオン電池負極材の生産能力確保も可能であると考えております。

2. 異動する子会社(SGL GE Carbon Holding LLC)の概要 (平成 29 年 9 月 28 日時点)

(1)	名 称	SGL GE Carbon Holding LLC	
(2)	所 在 地	160, Greentree Drive Suite 101, Dover, DE, USA	
(3)	代表者の役職・氏名	Scott L. Carlton, President	
(4)	事業内容 ※ ⁽¹⁾	黒鉛電極の製造・販売・研究開発	
(5)	資 本 金	100 US ドル	
(6)	設 立 年 月 日	2016年2月3日	
(7)	大株主及び持株比率	SGL GE Holding GmbH (100.0%)	
(8)	当社及び当該会社との間の関係	資本関係	記載すべき資本関係はありません。
		人的関係	記載すべき人的関係はありません。
		取引関係	記載すべき取引関係はありません。
(9)	当該会社グループの最近の経営成績及び財政状態 (単位: 百万 US ドル) ※ ⁽²⁾		
	決 算 期	2016年12月期	
	純 資 産	56.8	
	総 資 産	133.5	
	売 上 高	80.8	
	営 業 利 益	▲13.2	
	当 期 純 利 益	▲26.9	

※⁽¹⁾「事業内容」は当該会社グループの事業内容を記載しております。

※⁽²⁾「当該会社グループの最近の経営成績及び財政状態」については、連結指標等がないため、当該会社とその子会社の指標を単純合算した値を記載しており、監査法人の監査を受けておりません。

3. 株式取得の相手先の概要 (平成 29 年 9 月 28 日時点)

(1)	名 称	SGL GE Holding GmbH	
(2)	所 在 地	Werner-von-Siemens-Str. 18 86405, Meitingen, Germany	
(3)	代表者の役職・氏名	Klaus Unterharnscheidt, Managing Director	
(4)	事業内容	黒鉛電極の製造・販売・研究開発	
(5)	資 本 金	25,002 ユーロ	
(6)	純 資 産	120.3 百万ユーロ	
(7)	総 資 産	530.7 百万ユーロ	
(8)	設 立 年 月 日	2015年12月11日	
(9)	大株主及び持株比率	SGL CARBON GmbH (100%)	
(10)	当社及び当該会社との間の関係	資 本 関 係	記載すべき資本関係はありません。
		人 的 関 係	記載すべき人的関係はありません。
		取 引 関 係	ドイツ子会社にて当該会社製品の仕入れがございます。
		関 連 当 事 者 へ の 該 当 状 況	記載すべき該当状況はありません。

平成 29 年 9 月 28 日時点における大株主は SGL CARBON GmbH ですが、契約締結日時点における大株主は昭和電工となっている予定です。

4. 取得株式に係る議決権割合、取得価額及び取得前後の議決権割合の状況

(1) 異動前の所有株式数	0株 (議決権の数：0個) (議決件所有割合：0.0%)
(2) 取得株式数	100株 (議決権の数：100個)
(3) 取得価額	129億円
(4) 異動後の所有株式数	100株 (議決権の数：100個) (議決件所有割合：100.0%)

取得価額は換算レートとして1 US ドル=110 円で算出しております。なお、現時点で想定される取得価額を記載しておりますが、価格調整の金額により最終的な取得価額は変動することが見込まれます。

5. 日 程

(1) 取締役会決議日	平成29年9月28日
(2) 契約締結日(予定)	平成29年10月2日見込み
(3) 株式取得完了日(予定)	平成29年11月上旬見込み

本日程は平成29年9月28日時点のものであり、今後契約締結手続き等により変更になる可能性があります。

6. 今後の見通し

本件が平成29年12月期連結業績に与える影響については、軽微と考えておりますが、今後精査を行い、業績予想の修正等、開示すべき事項が発生した場合は、速やかに開示いたします。平成30年12月期連結業績への影響は、平成29年12月期の決算短信公表日に当該業績予想に織り込み開示する予定です。

以 上